



2018年3月29日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号4569 東証第1部)
問い合わせ先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電話 03-3525-4707

夜間多尿に伴う夜間頻尿治療薬「SK-1404」に関する ライセンス契約締結について

キョーリン製薬ホールディングス(株)の子会社である杏林製薬(株)(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:穂川 稔、以下「杏林製薬」と(株)スズケン(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:宮田 浩美)の子会社である(株)三和化学研究所(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:秦 克美、以下「三和化学」)は、三和化学が創製した新規の夜間頻尿治療薬「SK-1404」について、この度、ライセンス契約を締結しました。

本契約に基づき、杏林製薬は「SK-1404」の日本、アジア(香港、台湾、ASEAN10カ国)における開発、販売に関する独占的権利を取得し、杏林製薬は三和化学に契約一時金及び開発・販売におけるマイルストーンの支払いを行います。

夜間頻尿治療薬「SK-1404」はバソプレシンV2受容体のアゴニストで、内因性の抗利尿ホルモンであるアルギニン・バソプレシンと同じく、腎臓の集合管で水の再吸収を促進して尿量を減らします(抗利尿作用)。「SK-1404」は吸収性に優れ、服用後、速やかに抗利尿作用を発現し、その後は速やかに体内から消失する、有効性と安全性に優れた夜間多尿に伴う夜間頻尿治療薬として期待されております。

現在、日本国内においては、三和化学が第Ⅱ相臨床試験を実施しており、今後は両社で開発を進め、本剤の早期市場浸透を図ることで、夜間頻尿に苦しむ患者さんへ新たな選択肢を提供し、患者さんのQOL改善に貢献したいと考えております。

杏林製薬は、特定領域に経営資源を集中するフランチャイズカスタマー戦略(重点領域:呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科)を推進しております。本契約により、重点領域である泌尿器科領域での製品ラインナップの拡充を図り、当領域での更なるプレゼンスの向上を目指します。

2018年3月期の連結業績への影響につきましては、本契約により杏林製薬が三和化学に支払う契約一時金を当期(2018年3月期)の販売費及び一般管理費(研究開発費)に計上する予定であり、適時開示すべき事項が発生した場合、速やかにお知らせいたします。

(参考資料)

[夜間多尿に伴う夜間頻尿について]

夜間頻尿は、就寝後排尿のために起きなければならない症状をいい、排尿に関わる症状のうち最も頻度の高いものです。40歳以上の男女で約4,500万人が夜間頻尿の症状を有し、加齢とともに頻度が高くなり、日常生活において支障度の高い症状といわれています。夜間頻尿の原因として、夜間多尿（夜間の尿量が多いこと）、膀胱容量の減少、睡眠障害が挙げられますが、現在、夜間多尿に伴う頻尿に対して奨励されている薬剤はなく、過活動膀胱治療薬では症状が改善しない場合もあります。

[契約当事会社の概要]

社名	株式会社三和化学研究所	杏林製薬株式会社
代表者	代表取締役社長 秦 克美	代表取締役社長 穂川 稔
資本金	21億108万円	43億1700万円
事業内容	医薬品、診断薬の研究開発と製造販売、医薬品の受託生産	医薬品の製造販売
住所	名古屋市東区東外堀町35番地	東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 御茶ノ水ソラシティ
URL	http://www.skk-net.com	http://www.kyorin-pharm.co.jp

<お問合せ先>

株式会社三和化学研究所

経営管理部CSR広報グループ

TEL: 052-951-8130

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

社長室コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-3525-4707

以上